

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	「運営推進会議」に於いて説明をしているが、今後地域、家族に対して説明していくよう取り組んでいきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	朝礼や申し送り、各会議において唱和、実践がなされているか確認するよう取り組んでいきたい。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	○	施設便りに掲載したり、家族へ送付するなど取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	○	日常的な付き合いが出来るよう工夫していきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	利用者の重度化で外に出る機会が減っているので工夫しながら実施していくよう取り組んでいきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	「介護者教室」の講師を務め、認知症についての理解、普及に努めた。	○	・地域に還元できることは何かを考えていきたい。 ・何が出来るかを話し合い共通意識を持ち取り組んでいきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はパート職員を含めた全員で行い職員会議で検討し、共通認識を持ち取り組んでいる。	○	定期的に評価をしながら改善について努力していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・自己評価、外部評価の結果を報告し、改善点について説明をしている。 ・重度の「夜間せん妄」の利用者等についての状況説明し、助言を生かし支援している。	○	委員の方たちがGHに対し、理解が深められるよう工夫をしながら取り組んでいきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者について問題や課題が生じた時、随時、相談し助言を生かしサービスをしている。	○	課題を抱え込まず、区担当者と情報を共有しながら円滑に取り組んでいきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員研修会に於いて研修をしているので、必要な時に支援できる体制になっている。	○	今後も研修会を開催していく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修会に於いて研修している。	○	同上

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	一連の説明は行なっているが十分な説明かどうかはわからない。	○	時間をとって丁寧に説明するとともに、不安や疑問を確認しながら取り組んでいきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の介護相談員の訪問が年2回以上実施されている。</li> <li>・施設内各所に「意見箱」が設置されサービスの向上に生かしている。</li> <li>・福祉サービス委員会の設置、権利擁護委員の受け入れをし相談に対応している。</li> </ul>	○	介護相談員の訪問を増やすよう関係機関に働きかけていきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者個々の生活を写真を添え毎月送付している。</li> <li>・金銭管理について出納帳に記入し、家族に印鑑をいただいている。</li> </ul>		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回アンケート調査を行い、意見や苦情等について話し合いをし、サービスに反映している。</li> <li>・家族の要望(年1回の家族アンケート)で「家族会」を設けていないが「小旅行」「敬老会」等に案内をし聞く機会は設けている。</li> </ul>		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や各会議において出された意見や提案を反映させている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の異動がなく、馴染みの関係が継続できている。</li> <li>・全職員が全ての勤務に対応しているので利用者個々の変化に対応できる。</li> </ul>		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔馴染みの関係を大切にし、職員を固定している。</li> <li>・離職しないよう、職員の要望に沿えるように努めている。</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回以上の職員研修会、出張復命会を行なっている。また、外部研修も積極的に行なっている。パート職員も職員と同様である。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・GH協会県南Bで交換研修を行なった。 ・理事長が他GHで研修を行なった。</p>	<p>○ 今後も交換研修等の機会があれば取り組んでいきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・日常職員のストレスや悩みについて把握するよう努めている。 ・パート職員も厚生旅行の対象である。</p>	<p>○ 休憩時間、休憩室の確保に努めていきたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>資格取得の支援がある。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・家族と担当ケアマネの情報収集になりがち。 ・本人の状態や思いを聴くようコミュニケーションを密にし、職員間の情報を共有しながら安心と信頼につなげている。</p>	<p>○ 本人の話聞き、状況の把握に努めていくよう取り組んでいきたい。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・本人の状態、家族の困っていることなどゆっくり聞いている。 ・施設内を見学し、グループホームの生活を見せよう。</p>	<p>○ 利用を前提に話をすすめていたので、今後は利用者、家族の状況や思いなどを汲み取りながらすすめていきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な相談者には、地域包括支援センターと情報を共有しながら、可能な限り柔軟に対応している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・利用者の状況により、家族と一緒に施設見学を実施している。 ・すぐに利用になった場合は、安心して生活できるように家族の訪問を多くしたり、安心できる場所の提供をしている。 ・各種の趣味活動(習字、生け花、裁縫、カラオケ、畑作業等)の支援をしている。	○	本人が安心して利用できるようにスタッフが自宅を訪問したり、施設に招いたりしながら納得して利用できるよう取り組んでいきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・畑作業では様々な場面で教えられることが多い。 ・温泉小旅行では利用者、職員と一緒に入浴し、楽しい時間を過ごした。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・毎月利用者の写真を添えて生活の様子を伝え、情報の共有に努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・小旅行や敬老会等、家族に案内状を出している。 ・家族が遠方の利用者は疎遠になっている。 ・外出、外泊、面会が減っている。	○	家族の行事等への参加について工夫しながら取り組んでいきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・知人、友人の訪問時は地域交流スペースや談話コーナーを利用し、周囲に気兼ねなく過ごしてもらう。 ・ドライブ等で「ふるさとめぐり」を行なっている。	○	利用者の馴染みの関係を継続出来るよう取り組んで行きたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者同士の関係がうまくいくよう個性や身体状況を職員が共有し、「その時、その一瞬」を大切にしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・入院者にはお見舞いに行っている。 ・併設特養に入所の場合は訪問したり、来てもらったりしている。また、行事も一緒に行なっている。 ・亡くなった時は、告別式に参列したり、参列できない時には弔電を送っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ひとりひとりの思い、意向について利用者の希望を把握している。 ・意思疎通困難者には、特に関わる時間を多くもっている。	○	意思疎通困難者の思い、希望、意向について家族の話を聞きながら把握に努めていきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族がわからない部分については知人、友人が訪ねて来た時の会話から情報を汲み取っている。	○	生活歴、馴染みの暮らしについての収集について不十分なので、本人が場面ごとに話したことなどを記録し、今後の取り組みに活かしたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日誌記録の他、連絡帳で情報共有し、ひとりひとりの生活を把握している。	○	より研修を深めていこう取り組んでいきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・家族、本人の意向を汲み取っているが、アイデア性にかける。 ・職員視点になっている。 ・事業所以外の関係者から意見を聴くことはない。	○	本人、家族の思い、意向を聞きながら、「その人らしさ」を引き出せるように取り組んでいきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・評価、見直しが円滑に出来ていない。 ・臨機応変の見直し不十分である。	○	本人、家族とじっくり話を聴きながら見直しを行なうなど取り組んでいきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録、気分行動、バイタル受診、食事量、水分量、排泄、入浴等記録を個別に記録し、情報の共有を徹底している。	○	個別の記録を介護計画へ反映できる様、見直し、評価に取り組んでいきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて隣接する病院への定期的な通院や緊急時の受診に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・「小旅行」の際民生委員の協力で実施し、理解を得ている。 ・地域の協力を得ての消防訓練や3小学校の児童との「里孫交流」を続けている。	○	安心して暮らすことができるよう多様な地域資源が活用できる様取り組んでいきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・地域の理容組合の協力で訪問理容サービスを希望者に行なっている。 ・歯科検診を実施している。 ・他のケアマネジャーやサービス事業者との話し合うことはあるが、サービスにつながった例はない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センター職員が出席することで利用者の支援に関する情報の共有、協力が図れた。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望に応じているが、殆どの利用者は隣接の協力病院(内科、外科、整形、歯科、リハビリ)への受診となっている。また、協力病院以外の受診については状況に応じて対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症専門医ではないが、認知症の人の医療に熱心で家族や職員に適切に助言してくれる。 専門医受診を随時行い、診断・治療が受けられる。</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・併設施設の看護職員の協力で日常の健康管理や相談、助言を受けている。 ・隣接する病院の看護職員、薬剤師、歯科衛生士、P. Tと気軽に相談できる。</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・頻繁に職員が見舞い、回復状況の把握をしている。また、家族との情報交換をしながら医師と話し合う機会を持ち早期退院の支援を行なっている。</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・重度者に対しては併設の特養と情報を共有し、本人、家族、かかりつけ医と話し合いながら連携を図っている。 ・終末に対する対応方針は無い。</p>	<p>○ 利用者や家族が安心して利用できるように、日常の健康管理と急変時の対応について状況の変化の度に説明している。今後、終末期に向けた方針を明確にするよう取り組んでいきたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>本人、家族が希望すれば受け入れる方向で検討するが例はない。</p>	<p>○ 重度化や終末期に向け研修を行なっていきたい。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>これまでの生活環境を継続するため、生活支援や注意等を情報提供し、また、馴染みの利用者、職員が訪問に行くなどしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「個人情報保護法」「プライバシーの保護」についての研修を行い、秘密保持の徹底に取り組んでいる。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・趣味活動(習字、生花、畑作業など)の選択やドライブのコース、外食のメニュー選びなど自分で選ぶことができるよう支援している。 ・家族から情報を得ている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・夜間入浴を実施し、希望に応じている。 ・外食や出前食事を楽しんでいる。また、屋外での喫煙、飲酒にも柔軟に対応している。	○ その人らしい生活ができるよう、家族からの情報収集をし、日々の関わり合いの中で工夫しながら取り組んでいきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・思い出のある衣類を本人と選びながら最大限に活かしている。また、本人が選び不十分なところはさり気なくおす。 ・職員も家族なのでセンスのある自由な服装となっている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・畑作業を通して季節の野菜を調理に活かしている。 ・買い物に行き、食材を見て献立が変わることが頻繁にある。 ・男性利用者はテーブル拭き、食事の挨拶など仕事の役割がある。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・たばこは職員がライターを預かり、喫煙室で希望時に喫煙できる。 ・本人好みのお酒を預かり、体調をみながら提供している。また、外食や行事などでも提供している。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を記録し、排泄のパターンを把握し、トイレ誘導を行なっている。	○	男性用便器の設置に取り組んでいきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・日中と夜間入浴を隔日で行なっているが、職員のローテーションや利用者の状態で個別に対応できていない。 ・重度者のための浴室、浴槽の工夫をしている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している			
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・ひとりひとりの得意な仕事や趣味などが発揮できるよう支援している。 ・職員に畑作りを指導してもらったり、収穫した野菜の出来をほめるようにしている。	○	生活歴の情報が不十分なので収集に努め、その人らしい生活ができるよう取り組んでいきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・本人が自販機からタバコを買ったり、酒店に行き、支払いをし飲酒している。 ・財布のしまい忘れがあるので、職員がさり気なく確認している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・近くの小学校の運動会に出かけたり、芸能まつり等見学できるよう支援している。また、重度者に対してもリフト車で移動している。 ・日常的にドライブ、外食を楽しみ季節感を感じ、地域の人たちとの触れ合いを支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・温泉に行きたいとの希望で温泉バスの送迎で日帰り小旅行を実施している。 ・遠方にいる孫の結婚式に泊りがけで出かけたり、家族と七夕見物に出かけられるよう支援した。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・公衆電話を利用する方には間違いのない様確認し、職員は離れる。 ・家族から電話があった時は取り継ぎし、職員はその場を離れる。	○	手紙でのやり取りは殆ど無いので工夫をしながら取り組んでいきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・他の利用者に気兼ねなく過ごせるよう談話コーナーや交流スペースに案内している。 ・面会時間は設定していない。 ・家族の宿泊にも応えている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束はしない」という職員の共有認識で目配り、気配りをし、その人らしい生活を支援している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・外出行動のある利用者の行動パターンを職員が把握している。 ・センサーを取り付けている。 ・併設施設の職員へ情報提供し、連携を図り、見守りを強化し鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・日中は利用者の様子が確認できる家事室カウンターで事務室で記録をしたり、一緒に洗濯たみなどし、さり気なく見守る。 ・夜間は全居室の様子が確認できる和室で見守りをする。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・多量の洗剤、薬品は倉庫に保管し鍵をかけるが、洗濯室、浴室は自由に入出入り可能、夜間は施錠する。 ・本人が持参した裁縫道具は本人が管理している。 ・包丁は手の届かない上の棚に保管。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・インシデント、アクシデント報告をし、検討、対策をしている。 ・喫煙者に対してはライターを預かり喫煙室で吸ってもらう。 ・職員研修会で研修している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が救急救命心肺蘇生法の研修を行なっている。</li> <li>・夜間の緊急時の対応として併設施設の夜勤や宿直の協力が得られる。</li> <li>・隣接の病院の協力が得られる。</li> </ul>		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に通報訓練、非常招集訓練を行なっている。</li> <li>・地域住民の協力を得て、年1回「総合防災訓練」を実施している。</li> </ul>		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会の際に生活の様子などを見ていただき、起こりうるリスク、対策を説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員は普段の状況を把握していて、体調の変化に気づいたらバイタルチェック、病院受診などをし早期発見に取り組んでいる。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が薬の内容が把握できるよう個別のファイルで確認している。</li> <li>・個包にし、氏名、内服時間を記名してあるので本人に確認してもらい間違いのない様に行なっている。</li> </ul>		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝全員に乳酸菌飲料を提供している。</li> <li>・普段から野菜中心の食事に心がけている。</li> <li>・排便チェック表の記録で個々のパターンを把握しているので水分を多く摂ったり、下剤を内服することもある。</li> </ul>		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の歯科検診があり、ケアプランに位置付け毎日実施している。</li> <li>・毎食後のうがいと就寝前の義歯洗浄の支援を行なっている。</li> </ul>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事の量や水分の量を毎食チェックし記録している。不足しているときは代替食等で対応している。 ・1週間に1度管理栄養士に検食簿を提出し助言をもらっている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・感染症マニュアルがあり実施している。うがい・水分補給には、紅茶で行って予防に努めている。 ・利用者、職員が手洗いの研修を行なった。 ・インフルエンザの予防接種は利用者、職員全員実施している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・調理マニュアルがあり実施している。 ・一日の作業終了後のチェック表で確認している。 ・管理栄養士の点検。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関先には季節の花や野菜のプランターを設置し、ベンチで休めるようになっている。 ・デイサービスと隣接し、交流が図れる。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・柱時計や日めくりカレンダー、掘りごたつや足踏みミシンなど生活観や季節感を取り入れている。 ・昭和30年代の食器を使ってなつかしく思い出しながら食事をしている。	○	重度者が増え、浴槽の出入りが困難になっている。浴槽の底を上げたが不十分。浴槽外に台を設置し、座って浴槽に入れるよう検討中。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・談話コーナーが3ヶ所、和室、廊下の長いす2ヶ所あり、その時その気分で過ごせる。 ・観葉植物があり落ち着いた雰囲気になっている。 ・昔なつかしいミシンや掘りごたつがある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・本人の持ち物が少ない利用者には職員がダンボールで棚を作るなど工夫して居室作りに努めている。 ・畳を準備し希望があれば和室にも出来る。	○	家族の協力が得られないため、利用者の馴染みのものが少ない。今後説明をし協力が得られるよう取り組んでいきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・冬期間は温度、湿度のチェックを1日3回行なって快適に過ごせるように努めている。 ・トイレの照明スイッチと換気扇が一体になっている。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・建物内部はバリアフリーになっている。 ・流し台、調理台は利用者用に低くなっている。 ・オール電化で安全に配慮している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	馴染みのものを職員の都合で移動しない。利用者も環境作りに関わるよう工夫している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・ベランダの一角に農作業用具等を収納し、畑作業をしやすくしている。 ・周囲が公園になっているので、季節を感じながら散歩等で楽しむことができる。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input checked="" type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当施設は、高齢者総合福祉施設ぬくもりの家の併設施設として開設し「健康増進プラザ悠悠館」「奥州市立まごころ病院」が隣接し保険・医療・福祉の充実が図られています。施設内には、地域交流スペースがあり地域の方々の作品の展示発表の場として提供されています。区内の知的障害者通所授産施設「コスモスの家」の皆さんが喫茶コーナーを開設しています。利用者と家族、地域の方たちの集う姿が見られます。また、区内3小学校の子供たちが「里孫」のボランティア登録をし、利用者との楽しい交流が続けられています。休日には、「里孫」たちの明るい元気な声が響いています。